

【計画策定の基本的な考え方】

◆これまでの施策展開で重視している考え方

- ① 挑戦する事業者を応援する、経営課題を抱える事業者に寄り添い支援する計画

◆新たに重視する考え方

社会経済情勢に応じた適切な事業者支援が必要なことから、①に加えて、新たに以下の2つの考え方を加えて計画を策定する。

② 柔軟性の高い計画

中長期的な産業振興の施策の方向性を明確に示し、社会経済情勢の変化に対応する計画

③ 機動的・効果的に目的を達成する計画

地域経済を取り巻く環境を踏まえ、事業を展開しその効果を追求する計画

【計画の構成・期間】

【計画の定義】

区内産業の振興を図るための中長期的な方向性を体系的に示すとともに、社会経済情勢の変化に応じた取組みを展開する。

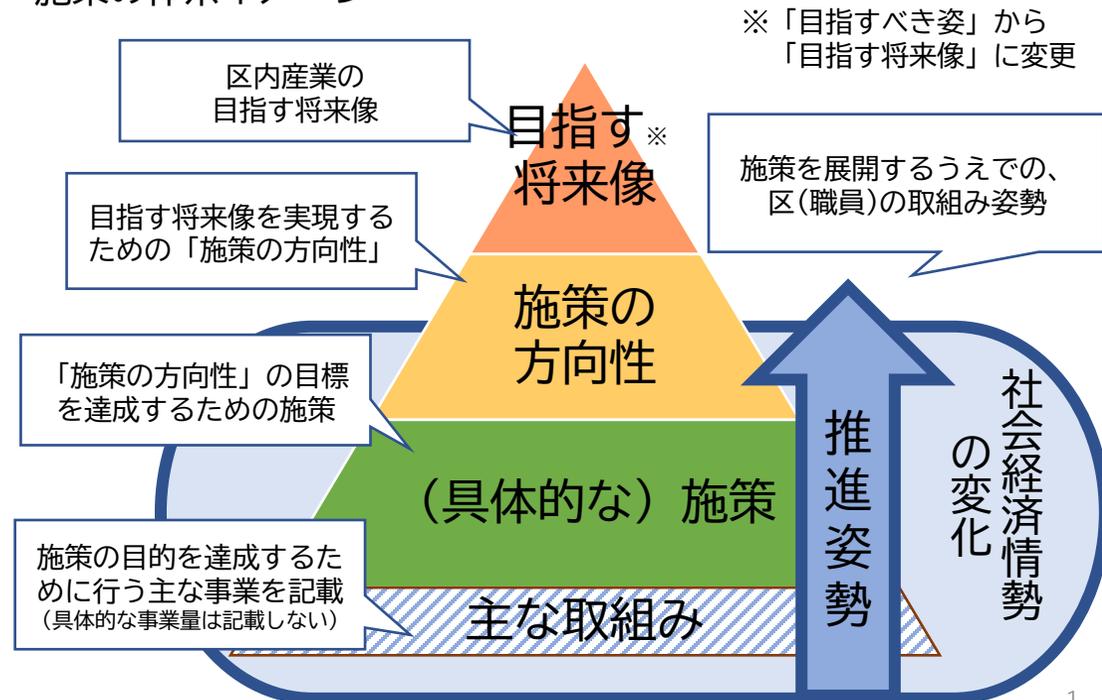
【計画の位置づけ】

基本構想や長期総合計画のもとに位置付け、関連する個別計画及び国や都の関連する計画・施策と連携を図る。

【計画期間】

令和7年度から概ね10年程度

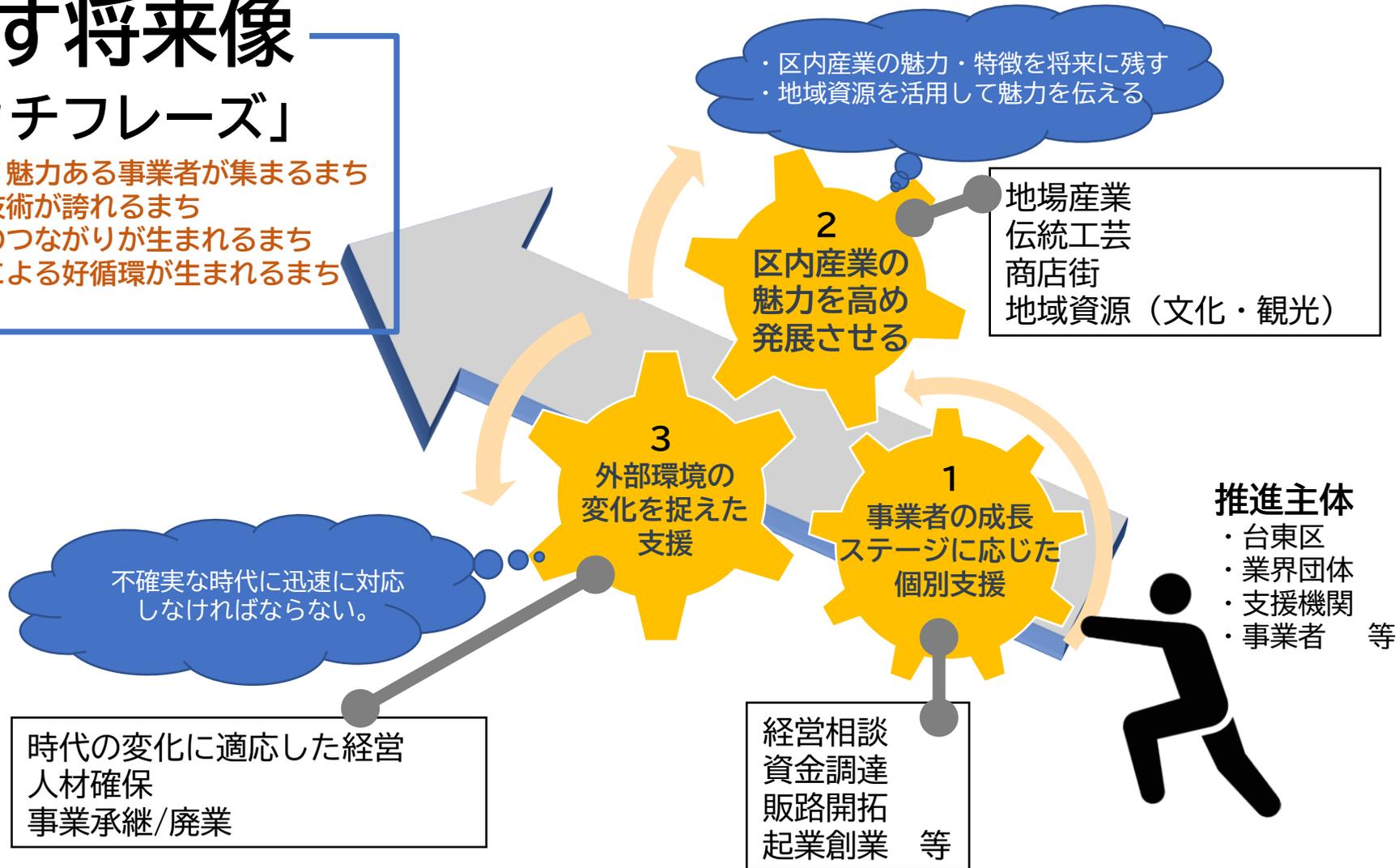
施策の体系イメージ



目指す将来像のイメージ（案）

目指す将来像 「キャッチフレーズ」

- ・挑戦する事業者、魅力ある事業者が集まるまち
- ・歴史ある産業・技術が誇れるまち
- ・多様な事業者とのつながりが生まれるまち
- ・魅力的な取組みによる好循環が生まれるまち



(参考) 前回計画の目指すべき姿

歴史と伝統に裏打ちされた、確かな技術、高い品質、おもてなしの心に溢れたまち
区民一人ひとりが自分らしく輝き、交流し、成長するまち
世界に絆を拡げ、未来に向かって躍動し、多彩な産業の魅力にときめくまち

「世界に躍動する産業都市 たいとう」

平成33年度までの5年間を見据え、台東区産業の目指すべき姿を展望すると、次のような理念を持って施策、事業を進めていくことが必要である。

2020年東京大会開催時には、歴史と伝統に育まれた台東区は大きな注目を浴びる。これを好機と捉え、確かな技術、高い品質、おもてなしの心に溢れた産業の魅力を国内外に発信する。

台東区の産業が連綿と築いてきた進取の気性を基礎に技術の高さを次代に引き継ぎ、様々な交流から生まれる新しい製品、サービスの創造や技術革新などにより競争力の強化を図る。

未来を支える人材を育てるため、あらゆる人々が輝き、区の産業を成長させていく。

今後、成長が見込まれる世界市場を視野に多彩な産業の魅力に更に磨きをかけ、世界中の人々へ絆を広げ、世界が一目置く台東区を目指す。

不易流行の言葉が示すとおり、変えてはならないもの、変えるべきものを見極めながら、不断の努力を重ね、創意工夫する。

こうした台東区の産業は世界に躍動する産業都市へと進展する。